

事業所名: グループホーム錦の里

作成日: 令和 2 年 3 月 20 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	入居者一人ひとりが、ストレスなく、より良く暮らす為の課題やケアのあり方については、常に職員間で協議しているが、サービス計画に連動させ、全職員が同じ目線で、同じ目標に迎える様、情報共有や記録等の見直しが必要。	全職員のスキルアップは基より、会議の進め方や、記録様式の改善及び情報共有の為の伝達方法を統一し、ユニット間の連携も高める。また、事業所の理念、目標を全職員で理解し利用者に還元する。	年間研修計画を立て職員のスキルアップを図り、書類等に関しては、施設内外の様式も参考に全職員の意見を取り入れ作成し、会議に関しては、司会進行やタイムキーパーを作るなど工夫し、毎回全職員で話し合い都度改善していく。	12ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針、支援については、昨今増えつつあり、全職員が対応出来るように体制を整える必要がある。	全職員が重度化や終末期、看取りについて知識を習得しケアの方針を理解し対応出来るようにする。	以前から継続して管理者やリーダーは定期的に施設内外の研修にて知識の向上に努力し職員の育成に励み、職員には同じく内外の研修に参加し意識の向上を図ってもらう。	12ヶ月
3	35	災害については、年2回の消防訓練や備蓄等行っているが、水害想定訓練は始めたばかりで、まだまだ完全ではなく、備蓄に関しても量的、品数的に少ない為、災害時に不安が残る。	水害想定訓練を完璧に行える様にし、備蓄に関しては、品数及び量を充実させる。また、職員の役割分担を決めシュミレーションを繰り返す事で災害時にパニックになる事なく落ち着いてスムーズに避難誘導出来るようにする。	全職員が訓練に参加し、シュミレーションを繰り返す。災害時マニュアルを作成しているが、定期的に見直し都度、改善出来る様にする。法人会議において問題点や改善点の提案を行うと共に備蓄の補充等も行っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。